

無料 法律相談

相談日 **7月27日(水)午後2時~4時**

会場 **支部事務所 電話 5390-6021**

相談者 **北法律事務所弁護士**
ご希望の方は、事前にご連絡下さい。

けんせつ北部

(購読料は組合費の中に含まれています) 定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
板橋 (3963) 5 3 2 5
練馬 (3825) 5 5 2 2
豊島 (3986) 2 4 7 1
※北 (5390) 6 0 2 1
発行人代表者 佐藤広平
発行日 1日、9日、17日、25日

第39回春の住宅デー

区内各地で元気な組合をアピール



◀会場を変えた豊王分会は大賑わい

豊王分会は今回、人通りの多い柳田公園に会場を変えて大催すことができました。

春の住宅デーは区内全体で1千人を超す来場者を迎え、盛況のうち終了しました。残念ながら西丘分会は朝の雨で、予定していた桐ヶ丘郷小学校的グラウンドが使えず、開催できませんでした。正午を迎えるころには天気も回復し、区内8会場で開催することができました。

6月5日は、区内9か所で(1か所雨のため中止)春の住宅デーを開催しました。包丁研ぎや木工教室など、様々なイベントを通じて地域の皆さんに楽しんでいただきました。



◀新しい顔ぶれが参加してくれました。うれしいですね。赤羽分会 並木祐介さん

イベントを成功させることが組合の力量アップにつながるという一面もっています。秋には飛鳥山公園で大住宅デーを行います。多くの仲間を集めて成功させましょう。



仲間がほしい人は青年部へ！楽しい出会いが待っています

盛り上がりつつ

青年部バーベキュー

6月18日(土)北支部会館屋上で青年部主催バーベキュー大会を開催しました。当日は梅雨の中止みで天候に恵まれ、28人の参加で交流を行いました。恒例のビンゴ大会で盛り上がり、楽しい夜はあっという間に過ぎていきました。今年も新宿支部より3人のゲストを迎え、支部間の交流もできました。

大事な一票お忘れなく

7月10日は参議院選挙の投票日です。忘れずに投票に行きましょう。選挙は組合の要求をかなえる最大のチャンスです。各候補者の

主張をしっかりと吟味し、「憲法を守り平和を守る」「大企業よりも中小・労働者を守る」組合の要求を応援してくれる候補者に清き一票！



北支部の旗を掲げ、堂々のデモ行進

建設国保は命の綱

予算要求集会

6月28日は、東京都へ私たちの建設国保の予算確保を訴える要請行動を行いました。各会派と都の担当局へ交渉団を送り出し、集会を行いました。また、午後には日比谷公園に3千人を超える全建総連の全国の仲間が集まり、「賃金・単価引き上げ予算要求中央総決起大会」が開

かれまし。各政党からも挨拶がありました。どの政党も建設業の発展には、賃金引き上げと待遇の向上で次世代の建設職人が入職することが必須との認識を語っています。これが「リブサービス」とならないよう、私たちは来たる選挙を通じて、しっかりと政党の公約を見極めなければなりません。



雨の中でも元気に「ガンバロー」

集合後は、小雨もよりの中銀座通りをデモ行進し、建設労働者の待遇改善と平和への願いを訴えるシニプレヒコールを街に響かせました。

豊王分会 神崎庄一郎さんの投稿より

「国民は健康にして文化的な生活を営む権利がある」とある。私たちの生活全般において、安心・安全な生活を営むには、これら憲法の条文が日常生活の中に生かされなければならぬ。今一度みんなで憲法を読み直し、ざっくばらんな話し合いをしてみたいと思う。



あすか山

▼実弟がまさか、まさかの「孤独死」。なんで、なんで。茫然自失の日々。未だに胸中に収まり切れずにいる昨今の私です。▼社会保障の改善に次ぐ改悪の政治状況で公助・共助から自助へという流れのなかで弟は亡くなっていったのだらうか。新聞、テレビで見聞していた状況がまさか身の回りに起こるとは。▼この本質は根本的には政治の問題があると思う。社会保障の削減や増税などの政策が庶民の経済・生活に覆いかぶせられる限り、今後も様々な問題が起こってくるはずだ。▼日本国憲法を読み返してみた。

倒壊家屋のすがた悲しく

熊本地震復興ボランティア



▲一階部分が倒壊した建物。多くの被災家屋がこのような姿に

▲最も被害が大きい益城町の様子。建物が傾げてしまっている



▲ブルーシートと土嚢は震災時の必需品



◁台風が多い九州では、重い瓦屋根が多い。しかし震災ではその重みが倒壊被害につながってしまった可能性がある

委員 6月19日から22日まで、有志で熊本へ参加しました。ボランティアの本格作業が受け入れられず、雨にも九州では被災現場での本格的なボランティアの受け入れが、ボランティアの組合員宅に訪問して救援物資を届け、困りごとなどを聞き取り、のりまわりました。写真で被災の様子をご紹介します。



熊建労古沢書記長と懇談

ボランティア2日目に熊建労東部支部を訪問し、古沢末昭書記長と懇談しました。(北

全国の支援に感謝します 熊建労書記長と懇談

支部からも被災直後に食料を送っています。(その後、復興の現状を聞かせていただきました。

・熊本は台風の影響もあり、ほとんどが重い瓦屋根。地震被害は古い瓦屋根が多い。スレートやガルバニウムの屋根は被害が少ない。

・被災当初は電話がつながらない。ラインなどのSNSアプリが役に立った。

・携帯に支部や、身近な役員の連絡先をなるべく入れておくほうが良い。手帳などは見当たらなくなる可能性がある。

・県外から悪質業者が入り込み、解体で相場の4倍ほど金をとったり、当面の養生のためにと言ってブルーシートをかき、100万円を請求するなどの事例が多く入っている。

・屋根の工事が済まない中も手が付けられないが、瓦屋さんはとても手が回らない。

・養生をかけてもすぐにシートが痛む。それを取り換えるだけに追われて本来の仕事にかかれぬ。

このような話を伺いました。私たちの防災活動に生かして、熊本の復興を支援していきます。



◁組合員宅へ困りごとなどの聞き取りと、救援物資を届けて回る様子。建設業の組合の皆さんです。被災してすぐに復興のため仕事に取り掛かっており、疲労はピークに達しています。



◁屋根業者の仲間を訪問。ある同業者は1,200件もの仕事を抱え、とても手が回らないとのこと。加えてこの大雨でシートの張替えの依頼もあり、本格的な工事にかかれぬ。



◁熊建労西部支部の村上副委員長に義援金を手渡す。村上氏も自身の仕事と組合の仲間の復興支援とでまったく休みが無いとのこと。我々ボランティア隊は、極力熊建労の負担にならないよう、自主的に活動するよう努めました。